

パイロットフォレストにおける野生動物自動撮影調査について(9月調査分)

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンターでは、パイロットフォレストにおける中大型哺乳類の生息状況と長期的動向を把握するため、(独)森林総合研究所北海道支所の技術的サポートの下に、下記のとおり自動撮影装置による調査を行います。

記

1. 概要

この調査は、(独)森林総合研究所北海道支所が技術的にサポートし、北海道森林管理局森林環境保全ふれあいセンター・知床森林センター、東京大学北海道演習林、東京農業大学生物産業学部生物生産学科など各機関がそれぞれのフィールドで自動撮影による中大型哺乳類の観測を行うものです。調査から得られたデータは、(独)森林総合研究所北海道支所が集中管理することで、その相互利用を図るほか、全道的な野生生物問題への活用を図ります。

2. 調査時期(釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター実施分のみ)

予備調査：7月6日から7月27日までの3週間

本調査：9月7日から9月28日までの3週間 今回調査分

3. 調査箇所

パイロットフォレスト内の湿原や林道など14定点に自動撮影装置を設置します。

4. 調査方法

調査は赤外線感知装置付きの自動カメラを使用します。装置は24時間稼働し、野生生物が装置前を通過したらその体熱を検知し自動的に撮影を行います。この調査手法では中型以上の哺乳類がすべて対象となる他、エゾライチョウやヤマシギ、ツグミ類、猛禽類などの鳥類も撮影されます。



自動撮影装置の設置状況

(昨年の撮影画像から)



ヒグマ(7月16日17:33撮影)



ミンク(7月26日20:42撮影)